

市立緑ヶ丘小学校施設建て替え整備に係る新校舎建設工事説明会質疑応答

日時 令和8年7月11日（土）
午前10時から午前11時まで

場所 緑ヶ丘小学校 仮設校舎多目的室

参加者 7人

	質 疑	回 答
1	解体工事の際、騒音と振動を強く感じたが、新築工事も同様なのか。	解体工事期間中は、多大なご迷惑とご不便をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。特に北門に近いエリアにおきましては、西棟の解体作業が目の前で行われていたため、影響が非常に大きかったことと存じます。 なお、今後の新校舎建設工事におきましては、解体工事の時のように、常に大きな振動や騒音が発生し続けることは比較的少ない見込みでございます。
2	新築工事（基礎工事・上部工）に伴う騒音や振動の影響、および具体的な対策はどのようなものか。	基礎工事の段階（9月～翌年1月頃予定）では大型重機を使用するため、一時的に騒音や振動が発生します。対策として、低騒音型重機の採用や、現場周囲への飛散防止（防塵・目隠し）シートを設置します。なお、地上部分の組み立て（上部工）に移行した後は、手作業が中心となるため、解体工事時に比べ騒音や継続的な振動は大幅に軽減される見込みです。
3	騒音や振動の影響が大きくなる具体的な時期とその配慮はあるか。	敷地西側から東側へ順次進めていく「基礎工事」の期間（10月中旬～11月頃）が最も影響が出やすい時期となります。11月以降は工事箇所が東側に移動するため、西側・北側隣接地域への影響は順次和らいでいく見込みです。受験期や冬休みにあたる12月～1月頃には、大きな騒音・振動を伴う重機作業のピークは外れる工程となっています。
4	西棟校舎の跡地、新校舎建設期間中の作業員駐車場は、新校舎完成後にどのように整備されるのか。	工事完了後は、児童が様々な作物を育てる「菜園」として整備します。正門正面のエリアにシンボルツリーを植樹し、それを囲むように各学年が利用できる豊かな緑地・作業スペースを設ける計画です。

5	通学時間帯における北門付近の安全対策、および交通誘導員の配置計画はどうなっているか。	日中の作業時間帯（8:00～17:00）は、車両が出入りする搬入口に交通誘導員を常時配置して安全を確保します。ただし、早朝の作業員通勤時間帯（7:00～7:45頃）は誘導員の配置が困難なため、作業員一人ひとりに対して通学路における安全運転ルール（徐行・一時停止等）の順守を徹底指導いたします。
---	--	--

※内容が類似する質疑については、質疑回答を取りまとめて記載しております。